

令和6年度第1回 羽曳野市本庁舎建替整備に関する意見聴取会 会議録

1. 日 時 令和6年7月23日（火）10時～11時30分

2. 会 場 羽曳野市役所 別館3階会議室

3. 出席者 （敬称略・区分別五十音順）

区分	氏名	所属・役職等
学識経験者 （座長）	関川 華	近畿大学 建築学部建築学科 准教授
市民団体	風呂谷 幸蔵	羽曳野市連合区長会 会長
市民団体	原 誠	羽曳野市商工会 会長
議会	百谷 孝浩	羽曳野市議会 公共施設建設整備特別委員会 委員長

4. 欠席者 ・和泉 大樹 阪南大学 国際観光学部 教授
 ・音川 佳世 羽曳野市身体障害者福祉協議会 会長

5. 傍聴者 なし

6. 資 料 ・資料1 羽曳野市本庁舎建替整備に関する意見聴取会 構成員名簿
 ・資料2 羽曳野市 本庁舎建替整備事業について

7. 事務局 ・羽曳野市 総務部管財用地課庁舎整備推進室
 （・株式会社 三菱地所設計）

8. 内 容

1. 開会

■事務局（総務部長）より開会の挨拶。

- ・ 早朝より、暑い中出席ありがとうございます。本日は本庁舎建替に関し皆様からのご意見をお伺いする会であります。前回の意見聴取会以降、基本設計を隈研吾建築都市設計事務所に、CM 業務を三菱地所設計に委託し、現在、基本設計を進めております。今後、関係各所と連携し基本設計をまとめてまいります。今後、シンポジウムやワークショップを開催し、市民の皆様の意見を聞く機会も予定しております。本日は宜しく申し上げます。

2. 資料確認

■事務局より資料確認

3. 委員紹介

■事務局より委員紹介

- ・ 構成員の交代についてご報告いたします。資料 1 の名簿に記載の通り、羽曳野市連合区長会の会長が、真銅様から風呂谷幸蔵様へ交代となったことに伴い、今回より風呂谷会長にご参加いただきます。
- ・ 本日は和泉委員と音川委員がご欠席となっております。

4. 座長選出

事務局より座長選出。関川座長を選任。

5. 次第 1

■次第 1 「羽曳野市本庁舎建替整備事業について」、事務局より説明。

6. 質疑応答

◆関川委員

- ・ シンポジウムやワークショップの様な短期間で市民の方からご意見を頂く機会があることは理解しましたが、パブリックコメントの様に長期間で市民の方にじっくり検討いただき、ご意見をいただく機会は計画されていますか。

■事務局

- ・ パブリックコメントにつきましては昨年度も実施しており、今年度も基本設計の内容に関するパブリックコメントを実施することを想定しております。

◆関川委員

- ・ 旧建物から新建物に移転する際に、DX の推進を目途としたシステムの検討・更新等があると思いますが、そういった領域を主体的にサポートいただける事業者はいますか。

■事務局

- ・ 現在、オフィス環境整備事業を株式会社オカムラにご協力頂いております。まずは、庁内で DX を推進し、現状の執務空間の調査・解析を行い、業務のデジタル化に適したオフィス環境の提案をいただきながら、今後の移転を含めてご協力いただく予定となっております。

7. 次第 2

■次第 2 「基本設計について」、事務局より説明。

8. 質疑応答

◆原委員

- ・ 来庁者用駐車場の駐車可能台数について、現状の台数と計画上の台数は何台ですか。

■事務局

- ・ 現状、及び計画ともに 125 台です。新庁舎での駐車台数は 125 台を若干下回る可能性があります。

◆原委員

- ・ 駐車可能台数について、来庁者用駐車場は現状の 1.3 倍から 1.5 倍の台数を確保して欲しいと思います。併せて、台数確保のために立体駐車場の採用は検討可して欲しいと思います。また、大型バス用駐車台数は現状の 3 台では足りず 5 台以上スペースが必要と考えますかいかがですか。

■事務局

- ・ 駐車台数に関しては、基本的に今の台数を維持することを前提としています。今後の市庁舎のありかたとして「市民が来なくてもいい市役所・書かない市役所」を DX の推進も含めてめざしていますので、現状の駐車台数を維持しながら、運用したいと考えています。立体駐車場に関しても費用対効果を考慮しながら検討していきたいと考えています。大型バス用駐車台数に関しては、5 台確保することはかなり困難と考えます。観光バス 1 台あたりの停車時間が 2 時間程度であることを考慮し、3 台の駐車場を高頻度で利用いただくことを想定しています。

◆原委員

- ・ 来庁する市民の方のサービス面を重要視して計画いただきたいと思います。親子連れの来庁者へのサービスとして、例えばキッズスペース等は計画されていますか。

■事務局

- ・ 子ども関連の窓口付近にキッズスペース的な空間を設置することを想定しています。

◆原委員

- ・ 災害時に緊急車両が入れるスペースを敷地内に検討いただきたいと思いますがいかがですか。

■事務局

- ・ 市庁舎は学校の体育館をはじめとした避難所とは違い、本部機能として計画しており、災害時に市民の方が来られない前提です。万が一、災害時に多くの緊急車両が当敷地にくる場合があっても、新たに整備する駐車場と、墓山古墳側の公用車駐車場部分の両方を利用する等の運用で対応することを想定しております。

◆原委員

- ・ 駐車場に車を停めて、新庁舎へ向かう歩行者動線上に敷地入口から駐車場に向かう車道があり、車道を渡るための横断歩道が新庁舎側に計画されているように思いますが、敷地入り口を現在の位置より南側に移動し新庁舎から離れた位置に横断歩道を計画することは検討可能ですか。

◆関川委員

- ・ 原委員と同じ主旨の質問になりますが、駐車場から新庁舎への動線については、高齢者や子ども連れの方がより安全に新庁舎にアクセスできるよう横断歩道の位置変更は検討可能ですか。また、カフェ用のドライブスルーを計画していますが、車両動線と歩行者動線が輻輳しないように検討いただくことは可能ですか。

■事務局

- ・ 検討します。

◆関川委員

- ・ 新庁舎完成後の駐車場は休日にも開放する予定ですか。

■事務局

- ・ 現状、休日の駐車場は料金を徴収せずに開放しております。料金については今後検討となりますが、新庁舎整備後も引き続き休日は開放することを想定しています。

◆関川委員

- ・ 外壁をガラス仕上げとしている範囲が多い印象を受けましたが、夏の日差し等、直射日光が入ると輻射熱も多くなると思います。また、ガラスで覆われたテラス部分を休日等開放する場合は、光熱費の問題が出てくるかと思います。光熱費の削減については検討されていますか。

■事務局

- ・ ガラス仕上げ範囲が多いことについては、断熱効果が見込まれる空気層を含んだ複層ガラスを採用する等で環境や経済性に配慮した計画とすることを想定しています。

◆原委員

- ・ 太陽光発電を新庁舎の屋上に設置する計画は取りやめとなりましたか。

■事務局

- ・ 現時点での新庁舎における屋根のデザイン、及び屋根の使い勝手上、当初想定していた新庁舎屋上への太陽光発電の設置は不可能であり、別館も含め設置場所の検討、及び環境に配慮したその他の省エネ設備による対応も含めて検討していきます。

◆百谷委員

- ・ 公用車駐車場の範囲は、今回の計画対象外ということでよろしかったですか。

■事務局

- ・ 対象外です。

◆百谷委員

- ・ カフェを予定しているところは、現時点でカフェのみを想定しているのか、カフェ以外の業態も想定をされているのか教えていただきたいと思います。各業態にサウディングする際には事前に協議していただければと思います。

■事務局

- ・ 現時点ではカフェ業態をメインに考えております。

◆百谷委員

- ・ 2階に計画されている市民共同スペースを期日前投票にも使われるとの説明がありましたが、その利用方法であれば1階の方が使い勝手としてはいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。

■事務局

- ・ 利用者との調整が必要ですが、1階市民ギャラリーを利用する運用も想定しています。

◆百谷委員

- ・ 新庁舎の3階に市長公室があり、別館に危機管理室があります。連絡通路で繋がっているため連携はとりやすいとは思いますが、やはり災害があった際に、司令塔となるのが市長公室と危機管理室ですので連携が一番大事だと思います。については危機管理室は新庁舎にあった方がいいのではないかと思いますがいかがと思いますが、一緒にすることはできませんか。

■事務局

- ・ 新庁舎の3階の（図面の右上）に会議室がありますが、将来的にはこの場所に危機管理室が移転することを想定しており、いずれ危機管理室は新庁舎内に移転することになります。

◆百谷委員

- ・ 5階の議場ですが、傍聴に来られる一般市民の方は受付したうえで傍聴席に入場する動線だと思いますが、議員の控え室の部屋数は既に決定していますか。

■事務局

- ・ 現状の議員控え室の部屋数に1部屋程度加えた数を想定しております。

◆百谷委員

- ・ 会派の議員数に変動があった場合、部屋数を調整したり、会派の人数によって大きさを変えたりすることはできますか。また、市民さんが来られたときに、面談室で面談する際のセキュリティ対策について教えていただきたいと思います。

■事務局

- ・ 現状、議員控え室として6部屋確保することを想定しております。会派ごとの議員数はある一定のルールに基づき面積で分けていくことを想定しております。具体的には人数によっての部屋の大きさを分けていくことを想定しております。面談に関しては、相談室をセキュリティ外に設置する予定です。市民の方が来られ議員の先生方とお話する際はそちらを利用していただければ考えております。また、議会図書室内にパーテーションで仕切られたブースの設置も検討しておりますので、資料の調査等も行うことが可能であると考えております。

◆風呂谷委員

- ・ 東側道路の既存の信号と信号の間に、もう1カ所新たな信号を設置する案も考えられますが、いかがですか。安全面を考慮するとその案はないかなとも思っております。

■事務局

- ・ 新たな信号を設置する案は、以前に警察と協議しましたが、既存の信号と信号の距離が近すぎるという理由から設置はできません。ただし、東側道路からの右折による入庫は非常に危険であり、右折入庫解消のため既存の南側の信号を利用して、南側道路を利用し敷地内に入庫いただくことを想定しています。また、現状右折出庫も散見されますので、その解消のためにも、南側道路に左折出場したのち、既存の敷地南側の信号の交差点を右折し南に向かっていただく運用を考えています。

◆関川委員

- ・ 植栽が新庁舎のいたるところに計画されている印象があります。そういった植栽のメンテナンスコストも考慮されていますか。

■事務局

- ・ 高木は可能な限り設置せず、低木を主に設置する等で、管理しやすい計画とすることを想定しております。

◆原委員

- ・ 新庁舎へ災害時用のヘリポートを設置する計画はありますか。また、近隣のヘリポートを利用する運用は想定されていますか。

■事務局

- ・ 新庁舎へのヘリポート設置の計画はありません。また、近隣のヘリポートを利用する運用も計画しておりません。

◆原委員

- ・ 災害時、新庁舎に市民が行くところが無い印象をうけますが、いかがですか。

■事務局

- ・ 備蓄倉庫も含め基本的に新庁舎には計画していません。基本的に新庁舎に職員用以外の備蓄物資を持ってくる運用も想定しておらず、避難者用の備蓄物資は近隣の防災倉庫に備蓄する想定のもと計画しています。

◆関川委員

- ・ 災害時に新庁舎を頼りに集まってくる市民の方は多くいらっしゃると思います。災害時に新庁舎が担う役割はどこまでなのか、備蓄物資はどこにあるのか、といった情報を市民の方にアナウンスするには新庁舎の建て替えが良い機会でもありますので、シンポジウムやワークショップで市民の方にお示しし、認識を整合さ

せる案もあると思いますがいかがでしょうか。

■事務局

- ・ 基本計画で既に市民の方に示されている通り、被災された方は（新市庁舎ではなく）体育館等の指定の場所に避難していただくことになりますので、そういった情報に関しましては、シンポジウムやワークショップ等の場で市民の方にお示しさせていただくことを想定しております。

◆百谷委員

- ・ 新庁舎に垂れ幕を設置するスペースは検討されていますか。

■事務局

- ・ 羽曳野市では設計者にデザインを検討いただいたうえで、東側道路側の外構部分に懸垂幕を掲示するための構造物を設置することを想定しています。なお、走行中の車両への訴求を考慮し、電光掲示版ではなく垂れ幕の設置を想定しています。

◆原委員

- ・ 敷地北東角の既存建物は解体予定ですか。

■事務局回答

- ・ 敷地北東角の D 棟（レディースセンター）は解体する予定です。

9. 閉会

◆座長より進行を事務局に返却。

■事務局より挨拶。

以上